



2026年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月6日

上場会社名 株式会社東京ソワール

上場取引所

東

コード番号 8040

URL <https://www.soir.co.jp>

代表者（役職名）代表取締役社長

（氏名）小泉 純一

問合せ先責任者（役職名）取締役上席執行役員経営企画本部長 （氏名）大島 和俊 （TEL）03-6372-6712

半期報告書提出予定日 2026年8月7日

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 （記者向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年1月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年12月期中間期	7,999	△6.8	203	△45.0	266	△40.3	202	△49.9
2025年12月期中間期	8,585	6.8	369	△2.9	446	2.8	404	2.9

（注）包括利益 2026年12月期中間期 502百万円（ 53.2％） 2025年12月期中間期 328百万円（ △43.0％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期中間期	58.56	—
2025年12月期中間期	117.49	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年12月期中間期	14,210	10,853	76.4
2025年12月期	13,934	10,488	75.3

（参考）自己資本 2026年12月期中間期 10,853百万円 2025年12月期 10,488百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	0.00	—	45.00	45.00
2026年12月期	—	0.00	—	—	—
2026年12月期（予想）	—	—	—	45.00	45.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	16,200	0.5	350	101.3	450	52.2	350	48.0	101.36

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 一、除外 一社 (社名) 一

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年12月期中間期	3,860,000株	2025年12月期	3,860,000株
② 期末自己株式数	2026年12月期中間期	381,568株	2025年12月期	400,096株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年12月期中間期	3,465,286株	2025年12月期中間期	3,446,717株

(注) 株式会社日本カストディ銀行 (信託E口) が保有する自社の株式は、1株当たり中間純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は、公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当中間期の経営成績の概況	P. 2
(2) 当中間期の財政状態の概況	P. 3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 中間連結貸借対照表	P. 4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	P. 6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報等の注記)	P. 9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間(2026年1月1日～2026年6月30日)における日本経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続いたものの、不安定な海外情勢の長期化や資源価格の高止まりなどもあり、先行き不透明な状況が続いております。

当アパレル業界におきましては、原材料及びエネルギー価格の高騰、度重なる物価上昇に加え、気候変動の影響により商品構成や投入時期などの見極めが難しい環境にあります。さらに、消費者の購買行動においても、実質賃金の伸び悩みを背景とした生活防衛意識の高まりによる節約志向や低価格志向が強まっており、今後の事業環境への影響が依然として懸念されます。

このような経営環境の中、当社グループは2027年を最終年度とする中期経営計画において、「ウェルビーイングな商品・購入体験の拡充」の実現に向けて、「事業領域の拡大」、「事業基盤の整備」、「効率化の追求」に取り組んでおります。

中間年度となる2026年度は、「成長加速フェーズ」と位置づけ、フォーマル事業では、ルールやマナーなどの情報やサービスを含む「フォーマルライフ」マーケットへの価値提供を通じて顧客体験を高め、安定的な収益を生み出す基盤へと進化させております。ライフスタイル事業では、株式会社キャナルジーンを成長ドライバーと位置づけ、収益性の向上と規模の拡充を進めてまいります。また、業務提携やM&Aを通じた外部知見の取り込みを柔軟に活用し、成長に向けた戦略の幅を広げてまいります。

こうした状況下における当中間連結会計期間の売上高は79億99百万円(前年同期比6.8%減)、営業利益は2億3百万円(同45.0%減)、経常利益は2億66百万円(同40.3%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は2億2百万円(同49.9%減)となりました。

セグメント別の経営成績の概要は次のとおりです。

<フォーマル事業>

フォーマル事業では、2025年秋より冠婚葬祭の多様化に対応した新たなフォーマルのスタンダードを再定義する新ブランド「TOKYO SOIR(トウキョウソワール)」を全販路で展開し、ブランド価値の向上と販売拡大を進めております。

当事業では、フォーマル領域における商品・サービスの提供を中心に、卸売、小売(直営店・EC)及びレンタルの各事業を展開しております。

卸売事業におきましては、新たなお客様の開拓と「フォーマルライフ」マーケットの拡張に向けて、従来とは異なるカテゴリーの商品提案と魅力的な売場づくりやサービスの提供を行っております。あわせて、取引条件交渉や不採算店舗からの撤退、在庫回転率の向上など、事業運営の効率化を継続的に推進しております。

小売事業におきましては、直営店「フォルムフォルマ」では、オリジナル商品の拡充と新規出店を進めております。ECでは、マーケティングツールの活用や広告運用の最適化により、堅調に売上を伸ばしていることに加え、EC限定のオリジナルブランドやコラボ企画の展開により、新たな顧客層の取り込みに注力しております。「kuros'」では、各種プロモーションによる認知度向上やECサイトのサービスを拡充し、ホテルや飲食店などの法人向け提案を強化することで売上の拡大を進めております。

レンタル事業におきましては、マーケティング施策の強化やECサイトの改修により堅調に売上を伸ばしており、更なる拡大に向けて、3月には名古屋へ新規出店いたしました。

フォーマル事業における売上高は71億36百万円(前年同期比7.7%減)、営業利益は1億61百万円(同48.8%減)となりました。

<ライフスタイル事業>

ライフスタイル事業では、カジュアル領域におけるブランド展開を中心に、ECおよびリアル店舗を通じて事業を展開しております。

当事業では、「CANAL JEAN」を展開する株式会社キャナルジーンにおいて、レディースファッションを軸として、SNSでの積極的な発信により幅広い世代からの支持を獲得しております。

ECは、天候要因によるシーズン商品の販売鈍化などから前年を下回りました。6月には、オフィシャルサイトをリニューアルし、UI/UXの改善や店舗との相互送客強化により、利便性と顧客体験の向上を図っております。リアル店舗は、前年の出店店舗による純増分が寄与したこともあり前年を上回りました。今後は、更なる成長に向けて厳選した地域への新規出店を進めてまいります。

ライフスタイル事業における売上高は8億62百万円(前年同期比1.5%増)、営業利益は41百万円(同23.4%減)となりました。

（2）当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における総資産は142億10百万円となり、前連結会計年度末に比べて2億75百万円増加いたしました。これは主に、売掛金及び契約資産の減少1億69百万円や現金及び預金の減少1億円があったものの、投資有価証券の増加4億23百万円や商品及び製品の増加3億1百万円によるものであります。

当中間連結会計期間末における負債は33億56百万円となり、前連結会計年度末に比べて89百万円減少いたしました。これは、繰延税金負債の増加1億47百万円があった一方、契約負債の減少45百万円や長期借入金の減少21百万円などによるものであります。

当中間連結会計期間末における純資産は108億53百万円となり、前連結会計年度末に比べて3億65百万円増加いたしました。これは主に、自己株式の減少24百万円があったものの、その他有価証券評価差額金の増加3億15百万円や利益剰余金の増加40百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて、1億円減少し19億57百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は1億56百万円（前年同期は4億43百万円の収入）となりました。これは主に、棚卸資産の増加2億37百万円や未払金の減少1億15百万円があったものの、売上債権の減少1億69百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は52百万円（前年同期は1億20百万円の収入）となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入59百万円があったものの、有形固定資産の取得による支出91百万円や敷金及び保証金の差入による支出24百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は2億5百万円（前年同期は2億34百万円の支出）となりました。これは主に、配当金の支払1億56百万円やリース債務の返済による支出26百万円によるものであります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,058,553	1,957,683
売掛金及び契約資産	1,395,820	1,226,143
電子記録債権	4,066	3,793
商品及び製品	4,229,111	4,530,179
仕掛品	349,050	285,677
原材料	1,413	1,374
その他	276,836	207,851
貸倒引当金	△517	—
流動資産合計	8,314,335	8,212,704
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,656,362	1,656,362
その他(純額)	691,378	715,386
有形固定資産合計	2,347,740	2,371,748
無形固定資産		
のれん	373,559	344,824
その他	48,230	6,911
無形固定資産合計	421,789	351,735
投資その他の資産		
投資有価証券	1,673,794	2,097,170
賃貸不動産(純額)	763,453	748,018
繰延税金資産	6,516	2,120
その他	409,096	428,890
貸倒引当金	△2,441	△2,376
投資その他の資産合計	2,850,418	3,273,823
固定資産合計	5,619,948	5,997,307
資産合計	13,934,283	14,210,011
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	332,563	314,039
電子記録債務	1,064,284	1,102,538
契約負債	108,557	62,583
1年内返済予定の長期借入金	43,840	43,840
未払法人税等	102,148	101,392
その他	733,208	548,106
流動負債合計	2,384,601	2,172,499
固定負債		
長期借入金	543,440	521,520
退職給付に係る負債	111,587	99,422
資産除去債務	205,172	224,462
繰延税金負債	111,356	258,913
その他	89,393	79,400
固定負債合計	1,060,950	1,183,719
負債合計	3,445,551	3,356,219

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,049,077	4,049,077
資本剰余金	3,732,777	3,732,777
利益剰余金	2,251,619	2,292,299
自己株式	△522,483	△497,965
株主資本合計	9,510,991	9,576,189
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	739,067	1,054,497
退職給付に係る調整累計額	238,673	223,105
その他の包括利益累計額合計	977,741	1,277,603
純資産合計	10,488,732	10,853,792
負債純資産合計	13,934,283	14,210,011

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
売上高	8,585,243	7,999,108
売上原価	4,085,464	3,654,142
売上総利益	4,499,778	4,344,965
販売費及び一般管理費	4,130,481	4,141,870
営業利益	369,297	203,095
営業外収益		
受取利息	376	539
受取配当金	31,056	36,187
受取賃貸料	51,370	51,581
その他	22,331	6,116
営業外収益合計	105,135	94,424
営業外費用		
支払利息	4,811	4,225
賃貸費用	21,320	22,957
その他	1,943	3,985
営業外費用合計	28,074	31,169
経常利益	446,358	266,350
特別利益		
投資有価証券売却益	79,151	22,034
特別利益合計	79,151	22,034
特別損失		
減損損失	1,522	8,913
投資有価証券売却損	—	5
特別損失合計	1,522	8,919
税金等調整前中間純利益	523,987	279,465
法人税、住民税及び事業税	110,938	62,634
法人税等調整額	8,099	13,919
法人税等合計	119,037	76,553
中間純利益	404,949	202,912
親会社株主に帰属する中間純利益	404,949	202,912

中間連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
中間純利益	404,949	202,912
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△65,862	315,430
退職給付に係る調整額	△10,834	△15,568
その他の包括利益合計	△76,697	299,862
中間包括利益	328,252	502,774
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	328,252	502,774

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	523,987	279,465
減価償却費	142,191	133,949
減損損失	1,522	8,913
のれん償却額	28,735	28,735
受取利息及び受取配当金	△31,433	△36,726
支払利息	4,811	4,225
投資有価証券売却損益(△は益)	△79,151	△22,028
契約負債の増減額(△は減少)	△40,407	△45,974
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△82	△582
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△17,116	△12,164
売上債権の増減額(△は増加)	144,914	169,950
棚卸資産の増減額(△は増加)	△146,274	△237,655
前払費用の増減額(△は増加)	33,969	23,699
仕入債務の増減額(△は減少)	81,582	19,729
未払金の増減額(△は減少)	△104,635	△115,055
未払又は未収消費税等の増減額	△75,827	△37,545
その他	△6,994	26,851
小計	459,791	187,786
利息及び配当金の受取額	31,433	36,726
利息の支払額	△4,838	△4,272
法人税等の還付額	1,488	2
法人税等の支払額	△44,115	△63,791
営業活動によるキャッシュ・フロー	443,759	156,452
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△27,432	—
投資有価証券の売却による収入	183,170	59,281
有形固定資産の取得による支出	△35,336	△91,353
資産除去債務の履行による支出	△1,518	△18,284
貸付けによる支出	—	△548
貸付金の回収による収入	3,887	3,355
敷金及び保証金の差入による支出	△9,299	△24,221
敷金及び保証金の回収による収入	6,471	19,143
その他	60	618
投資活動によるキャッシュ・フロー	120,001	△52,010
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△21,920	△21,920
配当金の支払額	△155,819	△156,950
自己株式の取得による支出	△214	△77
リース債務の返済による支出	△57,034	△26,364
財務活動によるキャッシュ・フロー	△234,987	△205,312
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	328,773	△100,869
現金及び現金同等物の期首残高	1,862,030	2,058,553
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,190,804	1,957,683

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高、利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	中間連結 損益計算書 計上額 (注)
	フォーマル事業	ライフスタイル 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,735,260	849,983	8,585,243	—	8,585,243
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,735,260	849,983	8,585,243	—	8,585,243
セグメント利益	314,721	54,575	369,297	—	369,297

(注) セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当中間連結会計期間(自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)

報告セグメントごとの売上高、利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	中間連結 損益計算書 計上額 (注)
	フォーマル事業	ライフスタイル 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,136,136	862,971	7,999,108	—	7,999,108
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,136,136	862,971	7,999,108	—	7,999,108
セグメント利益	161,284	41,810	203,095	—	203,095

(注) セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。